

第3回 国営備北丘陵公園管理運営ビジョン検討懇談会 ＜議事要旨＞

■開催日時：令和6年12月16日(月)15時00分～17時00分

■会場：中国地方整備局 建政部3階会議室(広島市中区八丁堀 2-15)

■主な意見

1. 管理運営ビジョンについて

(1) 管理運営ビジョンについて

- ・本ビジョンは今後長期間を想定した公園管理の理念を示すものと認識している。エリア毎の記載内容については、そのエリアで目指す理念・目標であるべきであり、より具体的な取組や今後の対応策については、ビジョンの中の表現としては固定化しないほうがいい。記載するとしても、方向性の例示程度に留めることが望ましいのではないかと。
- ・資料の流れを再考して欲しい。P6「管理運営ビジョンの構成」は分かりやすいので本頁上に、ビジョンのそれぞれの項目がどのページに対応しているか示すなど、読み手にわかりやすく伝える工夫が必要である。
- ・公園へ期待する価値として、「地域ならではの」という大きな期待と必要性がある。ビジョンの中で備北地域とどのように連携し存在感を示すのか、強調が必要ではないかと。
- ・ニーズ調査は要点を追記し、結果を整理・加筆のうえ、どのように「公園へ期待する価値」を抽出したかコンパクトな説明があると読みやすいので、流れをもう一段工夫していただきたい。また、国営公園としての一般論だけではなく、備北丘陵公園ならではの要素を盛り込むことを意識してほしい。
- ・連携については、ゾーン内で享受できる各コンテンツの連携(縦ぐし)だけでなく、ゾーンをまたいだサービステーマのまとまり(横ぐし)の連携、これらを効率的につなぐ手法などいくつか想定される。これら連携により生まれる新たな魅力を連想できるような提示が望ましい。一方でビジョンの中ではツアープランの単純な提示にならないよう、ポイントをしぼった表現を工夫すること。
- ・コラムは一連の流れを途切れさせているので、縮小するかあるいは、本論とは異なるものであることが分かるように記載を工夫して欲しい。
- ・資料の中で本公園、公園、備北丘陵公園という記載が混在しているので明確化しておくこと。

(2) パブリックコメントについて

- ・パブリックコメントの対象者として、現在や将来想定される公園利用者、地域で公園に関わっていただくことが期待できる方、民間事業者など様々な方々が想定され、幅広い意見を出してもらおうような働き掛けなど、周知の工夫が必要である。
- ・県・市としても周知に協力したい。

2. 今後の進め方について

- ・上記ご意見を踏まえ、パブリックコメント資料の作成を進める。

以 上